

再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫※1及び濾胞性リンパ腫(Grade 3B)

(※1:びまん性大細胞型B細胞リンパ腫・高悪性度B細胞リンパ腫・原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ腫)

エプキンリ単剤療法 患者プロトコール

催吐リスク

軽度

放射線併用なし

投与プロトコール 1コース:28日間 制限なし 《開始時基準 PS:0-2、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考	
1コース目または投与遅延後の再開1コース目						
ルートKeep	生食	500mL	エプキンリ投与日	—	詳細は電子添文参照	
プレメディ (内服)	抗ヒスタミン剤＋解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン1000mg)		エプキンリ投与日	30分前		
ポストメディ (内服)	プレドニゾロン錠:100mg/body/日		エプキンリ投与日	30分前		
			エプキンリ 投与翌日～3日間	分1 朝食後		
①	エプキンリ:0.16mg/body		mg	Day1	皮下 注射	詳細は電子添文参照
	4mgバイアルから0.8mLを採液し、中間用バイアルに加える					
	中間用バイアルに生食4.2mLを加えて希釈(0.8mg/mL)					
	中間用バイアルから2.0mLを採液し、投与用バイアルに加える					
	投与用バイアルに生食8.0mLを加えて更に希釈(0.16mg/mL)→1.0mLを採液					
②	エプキンリ:0.8mg/body		mg	Day8	皮下 注射	
	4mgバイアルから0.8mLを採液し、投与用バイアルに加える					
	投与用バイアルに生食4.2mLを加えて希釈(0.8mg/mL)→1.0mLを採液					
③	エプキンリ:48mg/body		mg	Day15,22	皮下 注射	
	48mgバイアルから0.8mLを採液					
2コース目以降						
CRS軽減薬	【前回のエプキンリ投与後にGrade2又は3のCRSが現れた場合のみ投与】				詳細は電子添文参照	
プレメディ (内服)	プレドニゾロン錠:100mg/body/日		エプキンリ投与日	30分前	詳細は電子添文参照	
ポストメディ (内服)			エプキンリ 投与翌日～3日間	分1 朝食後		
①	エプキンリ:48mg/body		mg	【2-3コース目】 Day1,8,15,22		皮下 注射
			【4-9コース目】 Day1,15			
			【10コース目以降】 Day1			
	48mgバイアルから0.8mLを採液					

佐賀大学医学部附属病院